

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 平成 29 年度)

施設の名称	東大阪市立荒本斎場	指定期間	27年度～31年度
施設所管課	健康部斎場管理課	指定の方法	単体施設を指定管理
設置目的	葬儀や火葬が公衆衛生上その他住民の福祉の見地から支障なく執り行われる施設として設置		
施設内容・業務内容等	火葬業務及び葬儀場の維持管理業務		
指定管理者	荒本斎場管理委員会	連絡先	06-6788-7424
人員体制	正規職員 2人	パート・アルバイト	人 その他 人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	249	250	230	249	250
指定管理委託料(千円)	8,363	8,462	8,304	8,647	8,647
利用状況指標	1 火葬件数(件)	21	32	23	補足説明
	2				補足説明
	3				補足説明

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示): S=チェック項目が全てO、A=×がなく「得点」が中間点以上、
B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。

「最終評価」(任意決定): 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	B	協定書に基づく管理運営に努めているが、危機管理及び事故防止上の対策について、マニュアルの作成、定期的な避難訓練の実施を求めている。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	施設の老朽化が進んでいるが、予算の範囲内で適切な設備等の管理が保たれているので、今後も日常点検などにより、設備の安全管理に努めてもらいたい。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	サービスの公平性が図られており、正確なサービスが提供されているが、特に高齢者、障害者、外国人の方が分かりやすく利用しやすい施設環境を提供できるように対応を求めている。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	A	利用者から意見や苦情を言いやすい仕組みづくり、利用の満足度を高める工夫を検討し、ニーズへの対応力を強化してもらいたい。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	施設の運営経費はほぼ人件費となっているため、経費の縮減は難しい状況にはあるが、引き続き経費の縮減、利用状況の改善に努めてもらいたい。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	B	法令を遵守し、火葬にかかる知識や技術は習得しているものの、関係法令に対する研修、情報公開への取組みが一部未実施となっている。倫理規定やコンプライアンスマニュアルの整備も併せて、検討していく必要がある。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) B	当該施設の設置の目的を効果的に達成するため、地域住民で組織された団体に管理させているが、市営斎場が地域に分散しているためか利用者数が少ないのが現状である。 今後、市営斎場の施設整備のあり方について検討していくなかで、荒本斎場の位置づけを明確にしていく必要があると考える。